



Pray for Rohingya

EXPECTANTLY SOWING



“平和、平和、遠くに
いる者にも近くに
いる者にも。私は彼を
いやす、と主は言われ
る。”
(イザヤ書57章19
節)

ロヒンギャ人のために祈る30日間

3月10日～4月8日

ロヒンギャが平和の神に出会えるようお祈りします。

下記事項が世界中のロヒンギャ人への祈りへと導きます。共通のテーマに加え、国別の特有な事項もあります。皆さんの30日間の神へのとりなしの祈りへのご参加に感謝します。ロヒンギャ、異なる国々、伝道活動、様々な状況への祈りの中で、主が皆さんの心にロヒンギャへの深い愛を植え付けてくださいますように。

アメリカ

1

ロヒンギャがイエスの夢をみられますように、そして既に主に従う者においては、同じように主が夢に出てきた人と出会う機会が与えられるように祈ってください。

2

主の夢を何度もみている若い女性のためにお祈りくださいー彼女がサムエルのように主を求めますように。

3

霊的な働き、イエスにおけるアイデンティティへの好奇心が深まるようお祈りください。

4

聖書にすでに触れた方々、ディスカバリーバイブルスタディーに参加している方々の心を主が和らげてくださいますよう祈りましょう。

5

イエスのことをもっと学びたいと言っている2人のロヒンギャの少女達のために祈ってください。これまで二人にはたくさんの種が植え付けられ、彼女達も色々な質問をするなど反応を示しています。どうか主が彼女達の種を育て、家族全員が信仰をもてるようにお祈りください。



ミャンマー

6

少数のミャンマー人クリスチャン達がGospel of Peace団とロヒンギャの村に行くことになりました。どうかこの兄弟、姉妹達のためにお祈りください。主が村人との橋渡しをし、働き人達の生き方や活動が、イエスとの関係の中にだけある真の平和を示しますように。

7

イスラム教徒のロヒンギャとラカイン人仏教徒は同郷ですがサタンは民族的、文化的な違いを利用して両民族を苦しめる不信感や憎しみを植え付けてきました。両民族の平和と和解に祈ってください。

8

ラカイン州に住むロヒンギャの友人は「銃声と爆撃音で一晩中眠れませんでした。」と語っていました。ミャンマーでのジュンタに対する戦争で板挟みになっているロヒンギャの安全と保護のためにお祈りください。“私は安らかに伏し、また眠ります。主よ、わたしを安らかにおらせてくださるのは、ただあなただけです。”

詩篇4章8節

9

ラカイン州ではロヒンギャ語で聖書のラジオ番組が放送されています。より多くのロヒンギャが番組を聴き、神が放送を聴く人々の心と人生を変えてくださいますように。

10

ミャンマー軍による統治に抵抗している国家統一政府(NUG)は2023年にロヒンギャ人の閣僚を選出しました。ミャンマーの将来の指導者がロヒンギャに対して好意的な態度を示すようお祈りください。そして国全体の平和を模索する中で、人道的で恩寵に満ちた統治を行うようお祈りください。



インド

11

サヒルさんはインドに住むロヒンギヤの信仰人です。彼の福音伝道が知れ渡り、個人情報と共に彼の攻撃を促すメッセージがネットに流れました。現在サヒルさんは家を離れることにも危険を感じています。どうか神の平和とサヒルさんの安全をお祈りください。

12

ウラ・サイドさんも信仰人です。先日、若者達がサイドさんを公園で襲撃する計画を立てている、との連絡を親戚から受けました。彼の身の安全を祈ると共に、我々の理解を超える神の平和がイエスにおいてサイドさんを導いてくださるよう祈ってください。



パキスタン

13

最近パキスタンではフェイスブック上でイエスの話を彼らの言語で聞く機会が与えられるようになりました。このビデオが福音に飢えている人々の心に届き、神の平和を見つけることができるようお祈りください。

14

モハメド・ユニスさんはフェイスブックのビデオをみた後に我々に連絡をくださいました。主が彼にもっとイエスについて学びたい、御言葉を読みたい、という願望をお与えになるよう祈りましょう。



インドネシア

15

アケ州ではまだ厳しい状況が続いています。現在約1500人のロヒンギヤ族が同州に住んでいますが、その多くはここ数ヶ月間の間に移住してきました。地元住民は快く迎え入れておらず、移民の生活を困難にしています。地元の権力者の中からロヒンギヤを擁護する者が現れ、生活必需品が与えられ、彼らが御国に近づくようお祈りください。

マレーシア

16

マレーシアのロヒンギャ難民は厳しい生活を余儀なくされています。差別と不当な扱いに直面しています。アジズさんはレストランで働いたことで逮捕されました。釈放された時、彼は「私には他に何ができますか？家族を養っていかなければならぬのに。」と語りました。神が権力者達の心を変え、ロヒンギャが不安のない暮らしを送ることができるようお祈りください。

17

マレーシアのロヒンギャは他国で定住できる日を夢見ています。より良い将来が期待できる国への移住を望んでいるのです。それはほんの一部のロヒンギャ人にだけ起こりうることで、長い待機期間は混乱を招き、希望を失わせます。シャヌさんは毎日カナダのビデオを見ては彼女はカナダに行かない限り、幸せにはなれないと考えています。私達が彼らと天国での市民権について語ることにどうか祈ってください。

18

こうした困難な状況の中で、イスラムに傾倒するロヒンギャもいます。魔術を行い、神からの助けや恩恵を受けようとするのです。タヘルさんのようなロヒンギャ人クリスチャンの信者は非常に少なく、現在彼は地元で迫害されています。現地の教会が神の平和を受けられる場所となるようお祈りください。

19

ラシードさんは家族全員を失った男性で、ロヒンギャの苦境に絶望しています。彼は最近「ロヒンギャはこんな風に生きるくらいなら、全員海で溺れ死んだ方がましだ。この世界から私達を消し去ることができる。」と語りました。ラシードさんが神の家族との交わりの中で、永遠の平和を見つけることができるよう祈ってください。

20

ヌル・アイシャさんは噂話をしたことで地元を追われる身になってしまいました。彼女はイエスが追放人を愛したことを知りイエスに興味を抱き、どうしたらイエスを知ることができるかと尋ねました。どうか神が彼女の心に種を植え続けてくださるようお祈りください。



ネパール

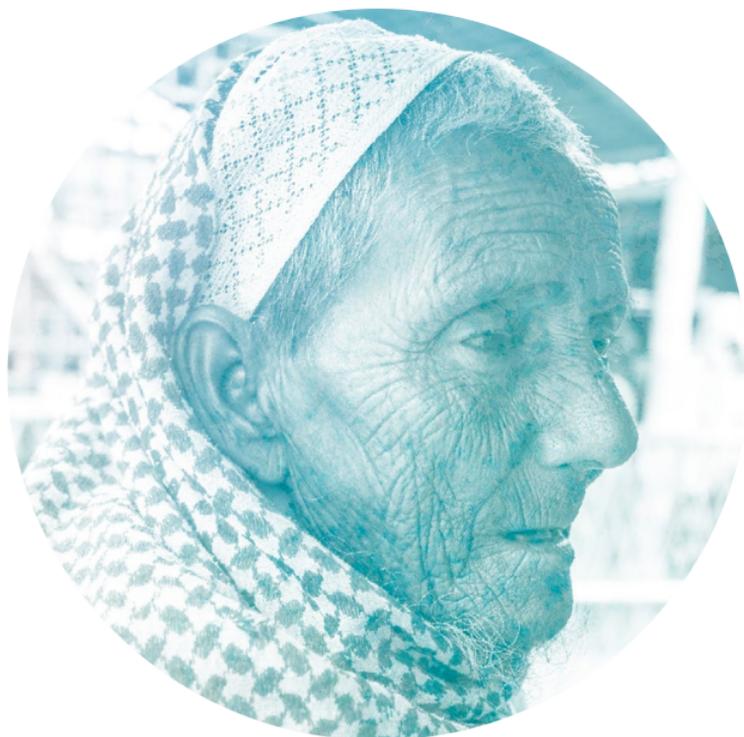
21

約2年間、ロヒンギャ人のためにネパールで不動産購入を試みてきましたが、ようやく彼らが故郷から離れていても、故郷と呼べることのできる土地を提供することができます。どうかヒンズー教徒の隣人がロヒンギャを受け入れ、彼らが愛され、尊重され、神の素晴らしい愛を感じることをできるようお祈りください。

ヨルダン

22

最近になって、数百人のロヒンギャ人がヨルダンに移住していることがわかりました。バングラディッシュの違法パスポートを使って長年前から住んでいるようです。地元民がこの小さな部族の特定のニーズを理解してくれるよう祈りましょう。キリスト者がヨルダンでイエスの福音をロヒンギャと共有するようお祈りください。



サウジアラビア

23

約50万人のロヒンギャがサウジアラビアに住んでいます。サウジアラビアは最近、西洋に開放的になりつつありますが、今のところまだロヒンギャに従事する活動は存在しません。神が平和調停者を呼び起こし、ロヒンギャと交わり、サウジアラビアでロヒンギャに永遠の平和がもたらされる機会が与えられることをお祈りください。

タイ

24

最近「平和」という言葉をよく耳にしますが、平和の欠如という意味で使われることが多いのが現状です。我々の世界は平和に飢えています。ロヒンギャは生計を立てることもままならず、平和を感じることは大変困難な状況です。我々が福音を共有する中で、彼らがイエスだけが与えられる真の平和を受けられるよう祈ってください。

25

イイルファンはバンコクに住む若者で彼の家族は未だにラカイン州にとどまっています。彼は家族の生活と身の安全をととても心配しています。「この状況を生き抜くには心の平和が必要です。」と彼は語りました。彼がイエスを知るようになったことを賛美します。どうか彼が神の平和を経験することができるようお祈りください。



バングラデシュ

26

キリスト者間における平和：ロヒンギャクリスチャンの中では仲違いが続いています。派閥争いや権力者が互いの影響力や献金力を使って、自分の教会にできるだけの人を取り込もうとしています。信者達は教会の会員になることを斡旋しています。これは指導者間の不調和や憎しみにつながり、キリスト者としてのお手本の役割を汚します。信者達の平和と調和をお祈りください。

27

噂話が平和終結の始まり：“たきぎがなければ火は消え、人のよしあしを言う者がなければ争いはやむ。”箴言26章20節。閉鎖的なロヒンギャ難民キャンプでは噂はすぐに広まります。隣人は隣人の噂をし、親戚は親戚の噂をする。事実は憶測と混ざり合い、誇張され、白黒はっきりした裁きが下されます。噂話は争いの火花に油を注ぎ、人間関係の修復を妨げます。噂話がなくなるようお祈りください。

28

難民キャンプでの平和：過去5年間でロヒンギャ難民キャンプは、彼らがミャンマー軍から逃れて安全に暮らせる場所から、殴り合い、誘拐、殺人が横行する悪夢の場所へ変わってしまいました。犯罪ギャング、武装団、宗教過激派などの権力がキャンプで強まっています。中には彼らの現在のキャンプでの生活状況はミャンマーで暮らしていた頃よりも悪化していると言う人もいます。福音のもたらす平和が彼らの心を変えてくれるようお祈りください。

29

聖書翻訳作業における平和：聖書翻訳作業の現場でも平和と和合が保たれていません。作業員は人類にとって最も大切なメッセージの翻訳に全力を尽くしています。しかし、一人の翻訳者が最善と考える翻訳が必ずしも別の翻訳者の考えと一致するわけではありません。善意の行為であっても、意見の不一致は起こります。平和的に争いを解決できるようお祈りください、そして言葉の綴り方などの小さな問題で妥協できる成熟さが与えられますように。

30

仲直り：平和と和解の促進は大変な仕事です。現地語を話さず、文化をよく理解しない外国からの派遣員がロヒンギャと交わることはさらに難しいことです。ロヒンギャ人の異文化への恨みは根強いように見受けられます。どうか外国人派遣員が平和の当事者となり、自らの狭い理解によって争いを更に悪化させないようにお祈りください。

祈り続けたいですか？



QRコードをスキャンしていただくと、WhatsAppアプリから定期的に祈りのリクエストが届きます。



ロヒンギャのためさらに祈りたい方のために：

pray4rohingya.org